

令和6年度 学校評価アンケート 自由記述欄について

〈はじめに〉

学校評価は学校の教育活動や学校運営に関して、職員だけでなく本校生徒や保護者、地域の方々と共に、その取組や成果を評価し、次年度に向けて改善を図るために行うものです。12月に保護者の皆さんからいただいた学校評価の「自由記述」について、多かったご意見に対して回答したいと思います。

【肯定的なご意見について】

〈教科、部活動の指導について〉

- 部活動については、全市的に縮小傾向にありますが、保護者の皆様からは熱心に指導しているという意見を多くいただきました。
- 教科指導についても、子どもが興味をもてるように工夫した授業を行っているという意見をいただきました。

〈学校行事について〉

- 以前までの文化祭から、今年度は内容を大きく変えた音歌祭として実施しました。保護者の皆様からは、子どもが楽しんで参加していたなど、肯定的な意見をいただきました。

〈生活指導について〉

- 各学年で活用してきた生活記録表による学校生活の把握、教職員と生徒の距離感、相談のしやすさなどについて、風通しが良い、親しみやすい、子どもがのびのびと生活できているなどの肯定的な意見をいただきました。
- 学びの教室や校内教育支援センター（ひだまり）の活用など、それぞれの子どもに合った学びの形について、子どもの登校しやすさにつながっているなど肯定的な意見をいただきました。

〈その他〉

- 学校評価アンケート以外にも、授業参観、学年・学級PTAの出欠、学期末懇談の日程予約などをすぐーるで実施しました。すぐーるの活用については、肯定的に受け止めていただいていることがわかりました。
- PTA 活動については、ボランティア制に変更になり、各家庭の状況に合わせて取り組むことができ、大きな負担を感じることなく取り組むことができているという肯定的な意見をいただきました。

多くの方々に本校の教育活動を肯定的に受け止めていただき、感謝申し上げます。特に子どもたちがのびのびと生活している様子や、教職員の親しみやすさ、学校全体の雰囲気の良いさに対するご意見を多かったことを大変うれしく感じています。次年度も、引き続き今年度と同様のお声をいただけるように、職員一同、真摯な態度で取り組んでいきたいと思っております。

【ご意見・ご要望について】

〈生活指導について〉

△一人ひとりの子どもの声を聴きながら、子どもに寄り添った指導をお願いしたいという声がありました。

〈学習指導について〉

△定期テストの廃止や二期制への移行に伴う学習状況の把握が難しくなったという声がありました。

〈その他〉

△部活動の選択肢が増えればよいという声がありました。

△持ち運ぶ学習用具の数が多く、かばんが重くなることについて心配の声がありました。

△部活動の再登校に対して、通学距離の長さから学校内に待機場所をつくってほしいという要望がありました。

△音歌祭については、子どもが主体的に取り組み、楽しめていたという声と同時に、ステージに上がらない生徒の活躍の機会を増やせないかというような声がありました。

本校では、生徒が「通いたくなる学校」を目指し、生徒の気持ちに寄り添いながら、生徒の意欲を育てていければと考えています。今後も、全職員で一丸となり、生徒の変化に目を配りながら、より丁寧な教育活動に取り組んでいきたいと考えています。

生徒が安心して学校生活を過ごせるように、各学年の様子を交流するなどの情報共有を毎週行い、安心・安全な学校生活の維持に努めてきました。今後も学年所属の教員だけでなく、スクールカウンセラーなどと連携をしながら、一人ひとりの学校生活を支えていきたいと思えます。

学習指導については、2月末に学習評価に関する説明会を実施し、定期テストの廃止の経緯や評価・評定について、令和7年度からの変更点、ご家庭での学習状況の把握などを説明させていただきました。そのときにいただいた質問の回答については、別紙の資料としてすぐ一斉で配信いたしますので、そちらもご確認ください。

設立する部活動の種類について、新入生保護者説明会でもご要望をいただきました。部活動の設立は、指導者、活動場所の確保などの様々な条件があり、特に指導者の確保が年々難しくなっている状況があります。地域団体や近隣中学校との連携など多様な活動の形態について模索していきたいと思えます。

学校評価アンケート全体の回答結果を集約したものは、学校ホームページで公開しております。今後とも本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。